

登録コード	SG102101	開講年度	2026				
授業題目	新入生ゼミナール				担当教員	XIE BIN	
英文授業名	Fresher's Seminar				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学年	1年
講義室	理学部第3講義室	理学部第2講義室	理学部第7講義室	授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ						
	【2023年度以降加付対象】幅広い教養および理学の基礎知識				これからの大学生活において必要となる基本的な数学的知識, 図書館の利用法, プレゼンテーションの仕方, レポートの書き方などを習得する。また, 心の健康・大学生生活のリスクについての理解も深める。		
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識				これからの大学生活において必要となる基本的な数学的知識, 図書館の利用法, プレゼンテーションの仕方, レポートの書き方などを習得する。また, 心の健康・大学生生活のリスクについての理解も深める。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	1. 数学科の紹介 学科の構成, 図書館, 図書室, 自習室等について説明する。 2. グループ討論 数理科学の基本となる論理を題材に, 少人数のグループで教科書を輪読し, 討論する。						
(5)授業のキーワード	学科紹介; 進路; 大学での数学の学び方						
(6)授業計画	1 ガイダンス,数学科紹介,大学で学ぶということ 2 心の健康・大学生生活のリスク対策 3 学ぶためのヒントと道具 4 研究倫理教育 5 情報セキュリティ 6 図書館ガイダンス 7 定義・定理などの用語, 習慣的に使われる記号や言葉 8 集合の記法 9 命題論理 10 命題の同値・背理法 11 習慣的に使われる記号や言葉 12 集合の演算 13 集合が等しいことの証明 14 述語論理 15 定義と定理の構造、授業のふりかえり						
(7)成績評価の方法	グループ学習の取り組み状況, 及びレポートにより評価する。						
(8)成績評価の基準	(i) 学術書の読み方や参考書の調べ方など, 学習の準備が整い, (ii) 数学で習慣的に使われる用語を習得し, (iii) 数学的な主張・証明など(基礎的なもの)を読んで理解でき, (vi) 数学的な主張・証明など(基礎的なもの)を文章にすることができ, (v) 数学的な主張・証明など(基礎的なもの)を口頭で正しく述べられる, という状況にあれば「卓越している」, (vi)までできていれば「やや上にある」, (iii)までの場合は「水準にある」。						
(9)事前事後学習の内容	教科書の予習・復習箇所については, 毎回講義時に説明を行う。ただし, 内容が前後する場合もある。						
(10)履修上の注意	疑問な点, 不明なことがあれば授業中に積極的に質問すること。						
(11)質問,相談への対応	講義中や講義後に質問するのがよいが, 状況に応じて教員の研究室等にて随時対応する。						
【教科書】	「大学数学ベーシックトレーニング」, 和久井道久著, 日本評論社, 2013年						
【参考書】	「数学ビギナーズマニュアル 第2版」, 佐藤文広著, 日本評論社, 2014年, ISBN978-4-535-78755-1						